組　合　の　概　要

（令和５年度）

令和６年３月現在

亘理名取共立衛生処理組合

事務局所在地　宮城県岩沼市下野郷字新藤曽根１番地の１
ＴＥＬ　0223－22－1717（代　　表）
0223－23－1142（し尿処理の問合せ）
0223－23－1178（ごみ処理の問合せ）
ＦＡＸ　0223－22－2793
E-mail　nwkk02@themis.ocn.ne.jp
ＵＲＬ　https://www.watanakyouei.jp

目　　次

１　組合の沿革　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１
２　地域の概要（地理・地形的特性）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２
３　人口及び面積　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
４　行政機構　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
（１）執行機関
（２）議決機関
（３）委員会組織
（４）組織図
５　財　政　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４
令和５年度一般会計予算　歳入・歳出
６　施設の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５
【ごみ処理施設】
（１）岩沼東部環境センター
（２）亘理清掃センター
（３）岩沼清掃センター（旧：ごみ焼却施設、現：ストックヤード）
（４）岩沼一般廃棄物最終処分場
【し尿処理施設】
（５）浄化センター
７　ごみ処理事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６
８　ごみ処理の実績（令和４年度）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７
（１）市町別排出量及び一人当たり一日の排出量
（２）種類ごとの市町別搬入状況
（３）収集運搬等搬入量
（４）市町別ごみ搬入量推移（平成 28 年度～令和４年度）
（５）収入状況
（６）施設別焼却量及び資源化量
（７）施設別埋立量
（８）ダイオキシン類測定値
９　し尿処理事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
10　し尿処理の実績（令和４年度）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
（１）市町別し尿処理人口（外国人を含む。）
（２）生し尿及び浄化槽汚泥等搬入量
（３）し尿処理手数料収入状況
（４）市町別搬入量推移（平成 28 年度～令和４年度）
（５）水質検査結果
（６）ダイオキシン類測定値

１　組合の沿革

- 昭和 38 年２月　亘理名取共立衛生処理組合設立　構成市町　名取市、岩沼町（当時）、亘理町、山元町（昭和 46 年 11 月岩沼市制施行）
- 昭和 39 年９月　岩沼町(当時)早股地区にし尿処理場の建設着工
- 昭和 40 年３月　し尿処理場竣工　４月より名取市、岩沼町（当時）、亘理町及び山元町のし尿処理開始
- 昭和 45 年10月　岩沼町（当時）寺島地区にし尿処理場第１施設建設着工
- 昭和 47 年３月　し尿処理場第１施設竣工　４月より稼動
- 昭和 52 年３月　し尿処理場第１施設の隣接地に第２施設の建設着工
- 昭和 53 年２月　岩沼市早股地区のし尿処理場の解体完了
- 昭和 53 年３月　し尿処理場第２施設竣工　４月より稼動
- 平成　３年11月　現在地に浄化センターの建設着工
- 平成　５年12月　浄化センター一部供用開始
- 平成　６年12月　し尿処理場第１施設及び第２施設の解体完了
- 平成　６年12月　管理棟の建設が完成し、浄化センター竣工
- 平成 14 年４月　ごみの広域処理（名取市、岩沼市、亘理町及び山元町のごみ処理）を開始
- 平成 17 年８月　「循環型社会形成推進地域計画」策定
- 平成 17 年10月　岩沼清掃センター焼却施設の解体着工
- 平成 18 年６月　岩沼清掃センター焼却施設の解体完了
- 平成 18 年12月　岩沼清掃センター焼却施設解体跡地にストックヤード（紙類・布類の分別及び保管施設）竣工
- 平成 19 年８月　「一般廃棄物処理施設（新ごみ焼却施設・新最終処分場施設）整備基本計画」策定
- 平成 19 年12月　「一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」策定
- 平成 20 年８月　「亘理名取共立衛生処理組合地球温暖化対策実行計画」（温室効果ガス総排出量抑制に係る実行計画）策定
- 平成 20 年９月　岩沼一般廃棄物最終処分場２期工事着工
- 平成 21 年１月　「循環型社会形成推進地域計画」策定
- 平成 21 年２月　岩沼清掃センター粗大ごみ処理施設解体撤去工事着工
- 平成 21 年３月　岩沼一般廃棄物最終処分場２期工事竣工
- 平成 21 年３月　岩沼清掃センター粗大ごみ処理施設解体撤去工事完了
- 平成 23 年３月　東日本大震災（３月 11 日）の大津波により浄化センター及び亘理清掃センターが壊滅的な被害を受け使用不能となる
- 平成 23 年９月　亘理清掃センター工場棟災害復旧修繕として 14 億 7,000 万円で三菱重工環境・化学エンジニアリング株式会社東北支店と契約締結（工期：平成 23 年９月から 24 年８月まで）
- 平成 23 年12月　亘理一般廃棄物最終処分場災害（台風 15 号）復旧修繕（工期：平成 23 年 12 月から平成 24 年３月まで）
- 平成 24 年２月　白石衛生センター（仙南地域広域行政事務組合所管施設）を借上げし、修繕を行いし尿処理業務開始
  処理能力：65 キロリットル／日
- 平成 24 年３月　新焼却施設建設用地の買収及び登記完了

・　平成 24 年４月　浄化センター復旧修繕として 15 億 2,250 万円でアタカ大機株式会社東北支店と契約締結
（工期：平成 24 年４月から平成 25 年３月まで）
・　平成 24 年９月　亘理清掃センター復旧修繕が完了し、本格稼働開始
・　平成 25 年３月　新一般廃棄物最終処分場建設候補地選定業務委託として 9,975 千円で株式会社エイト日本技術開発東北支社と契約締結
・　平成 25 年３月　新ごみ処理施設建設工事 104 億 6,325 万円で川重・熊谷・佐藤建設工事共同企業体と契約締結
（工期：平成 25 年４月から平成 28 年３月まで）
・　平成 25 年３月　浄化センター復旧修繕完了し、本格稼働開始
・　平成 25 年４月　新ごみ処理施設建設工事着工
・　平成 25 年４月　白石衛生センターを仙南地域広域行政事務組合に返還
・　平成 25 年10月　新ごみ処理施設建設工事安全祈願祭
・　平成 26 年３月　「一般廃棄物（ごみ・生活排水）基本計画」策定
・　平成 27 年12月　新ごみ処理施設建設工事火入れ式
・　平成 28 年２月　組合事務局移転
・　平成 28 年３月　名取クリーンセンター施設稼働停止
亘理清掃センター焼却炉稼働停止
岩沼清掃センター一般搬入終了
新ごみ処理施設建設工事竣工（総額 110 億 2,485 万円）
・　平成 28 年４月　岩沼東部環境センター（ぽぽか）本格稼働
組合事務局住所を規約変更により
「宮城県岩沼市下野郷字新藤曽根１番地の１」に変更
・　平成 28 年６月　岩沼東部環境センター（ぽぽか）竣工式
・　平成 28 年10月　２市７町の一般廃棄物（ごみ・し尿）を処理する仙南地域広域行政事務組合と災害や施設の故障時に一般廃棄物（ごみ・し尿）の処理を引き受ける相互応援協定を締結
・　平成 29 年５月　名取クリーンセンター解体工事 2 億 5,380 万円で戸田・グリーン企画建設特定建設工事共同企業体と契約締結
・　平成 30 年７月　名取クリーンセンター解体工事完了
・　平成 30 年10月　名取クリーンセンターの敷地を名取市へ返還

２　地域の概要（地理・地形的特性）

本組合は、宮城県南東部に位置し、仙台市と隣接する名取市と岩沼市、亘理町及び福島県を境とする山元町の２市２町で構成している。

本地域は、仙台平野の南部にあたり、西部に阿武隈山地の山並みが連なり、東は太平洋を臨み、山や海の自然豊かな風光明媚で気候温暖な地域である。

中央部には平坦地が南北に伸びて、ＪＲ東北本線、常磐線、国道４号、６号、仙台東部道路が南北に平行して走り、さらに名取市と岩沼市との境界には国際空港である東北の空の玄関口仙台空港がある。また、平成 19 年３月 18 日には、仙台空港アクセス鉄道が開業され、公共交通網の充実と沿線の商業地域や公共施設・住宅街が整備されている地域である。

幹線道路、鉄道沿線には、大小の工場の進出もあり、商工業都市としての発展も期

待されている。

奥羽山脈に端を発する国内最大級河川の阿武隈川と名取川が東西に流れて平野部を潤し、肥沃な土地を活かした農業の盛んな地域を育んでいる。

気候は阿武隈山地を背にしており、太平洋に面しているため、市街地での積雪はほとんどなく一年を通じて温暖な地域である。

３　人口及び面積

構成市町の人口は、平成９年度で 158,565 人であったが、平成 18 年度には 166,088 人（4.7%増）となっており、平成 21 年度においては 168,569 人（1.5%増）と微増ではあるが増加傾向にあり、今後も増加が見込まれた。

しかしながら、平成 23 年３月 11 日に発生した東日本大震災の津波により構成市町は甚大な被害を受け、また、死亡者、行方不明者の数は 2,000 名を超え人口は大きく減少したが、東日本大震災後 13 年を経過し、復旧復興が進むにつれ人口も増加している。

構成市町の人口及び面積

市町名／区分	名取市	岩沼市	亘理町	山元町	合計
人口（人）	79,519	43,489	33,136	11,678	167,822
面積（ｋ㎡）	98.17	60.45	73.60	64.58	296.80

※　令和５年３月３１日現在の住民基本台帳による。

４　行政機構（令和６年２月２８日現在）

（１）執行機関

○管 理 者	岩沼市長	佐藤　淳一
○副管理者	名取市長	山田　司郎
○副管理者	亘理町長	山田　周伸
○副管理者	山元町長	橋元　伸一
○副管理者	岩沼市副市長	鈴木　隆夫
○職 員 数	常勤職員 17 人	

（２）議決機関

組合議会　議員定数 16 人

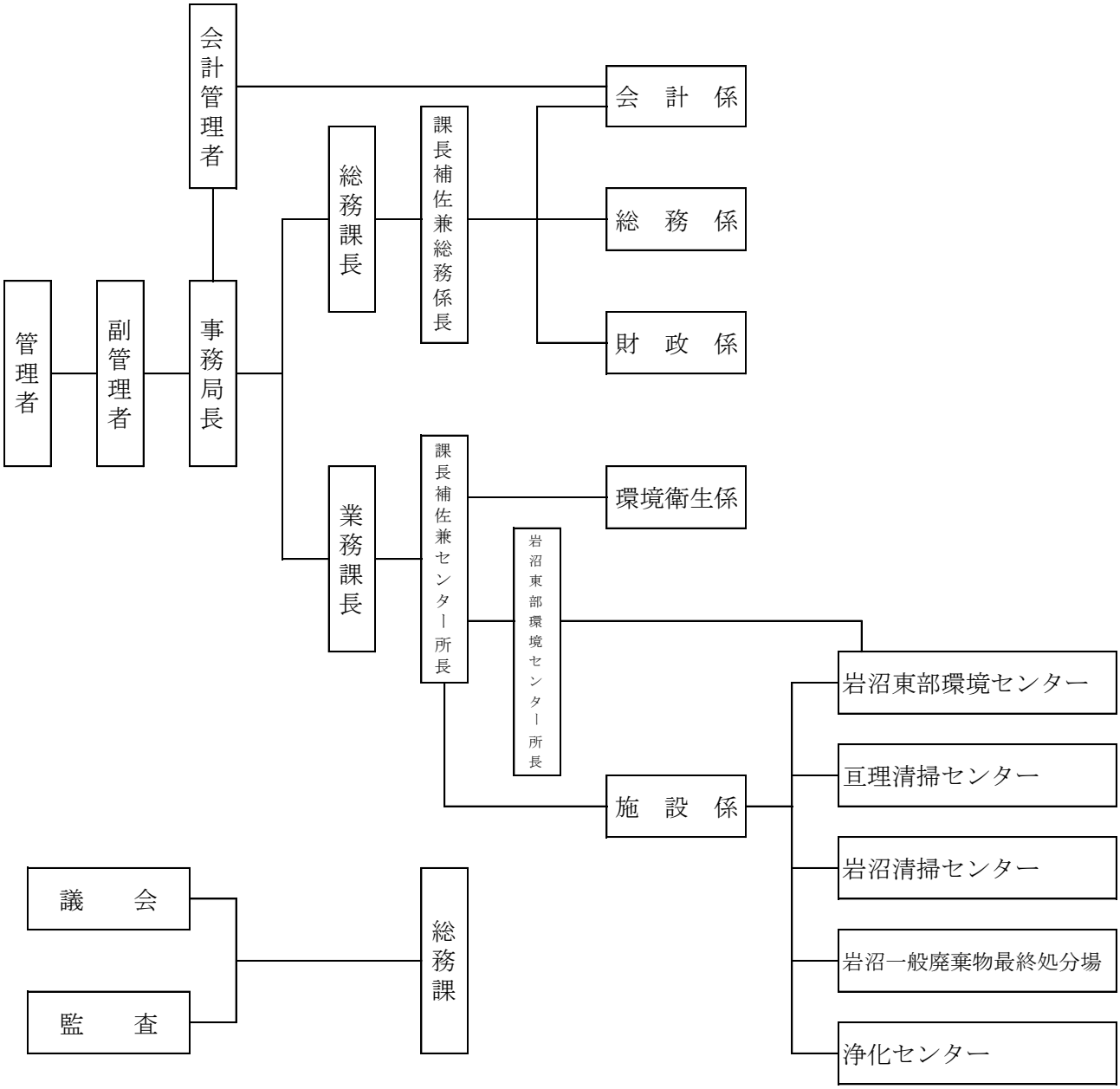
（構成市町議会議員の内よりそれぞれ４人を選挙）

議　　長	郷内　良治	（名取市議会選出）
副 議 長	佐藤　正司	（亘理町議会選出）

（３）委員会組織

監　査　委　員	委　　員	渡邊　千恵美	（山元町議会選出）
	委　　員	大村　晃一	（岩沼市議会選出）
議会運営委員会	委 員 長	山田　龍太郎	（名取市議会選出）
	副委員長	岩佐　哲也	（山元町議会選出）
	委　　員	佐藤　邦彦	（亘理町議会選出）
	委　　員	布田　恵美	（岩沼市議会選出）
施設管理運営調査特別委員会	委　　員	組合議員 16 人	

（4）組織図



5　財　政

令和５年度一般会計当初予算

（1）歳　入

歳　入　科　目	予　算　額（千円）	構　成　比（%）
1　分担金及び負担金	2,243,166	83.94
2　使用料及び手数料	213,343	7.98
3　国　庫　支　出　金	3,959	0.15
4　財　産　収　入	164,686	6.16
5　繰　入　金	45,000	1.68
6　繰　越　金	2,000	0.08
7　諸　収　入	128	0.01
歳　入　合　計	2,672,282	100

（２）歳　出

歳　出　科　目	予　算　額（千円）	構　成　比（%）
１　議　　会　　費	3,126	0.12
２　総　　務　　費	79,279	2.97
３　衛　　生　　費	2,539,056	95.01
４　公　　債　　費	48,821	1.83
５　予　　備　　費	2,000	0.07
歳　出　合　計	2,672,282	100

６　施設の概要

【ごみ処理施設】　対象者：一般住民・委託業者・許可業者

（１）岩沼東部環境センター　岩沼市下野郷字新藤曽根１－１

敷地面積　37,978.39 ㎡

工期　平成 25 年４月～平成 28 年３月

総事業費　11,024,850 千円（インフレスライド 561,600 千円含む）

・熱回収施設　ストーカ式焼却炉

施設規模 157ｔ／日（78.5ｔ／24ｈ×２炉）

排ガス処理設備　ろ過式集じん器、有害ガス除去設備他

飛灰処理設備　重金属類溶出防止処理

余熱利用設備　ボイラー、蒸気タービン発電機（発電出力　1,990ｋW）、ロードヒーティング設備、場内給湯設備

・リサイクル施設　施設規模 22.9ｔ／５ｈ

（２）亘理清掃センター　亘理郡山元町高瀬字杉田２－１

敷地面積　12,531 ㎡

・リサイクル施設　資源化設備

処理方式　スクリュー圧縮せん断式

処理能力　13ｔ／５ｈ

ＰＥＴボトル減容機

処理方式　油圧圧縮梱包式

処理能力　300ｋｇ／ｈ

（平成 28 年３月廃プラスチック処理設備の稼働停止）

※燃えるごみ・廃プラスチック以外の指定されているごみは、一般持込可能

【ごみ処理施設】　対象者：委託業者

（３）岩沼清掃センター　岩沼市南長谷字山小屋 74－36

建築面積　483.79 ㎡

延べ床面積　475.11 ㎡

工期　平成 17 年 10 月～平成 18 年 11 月

総事業費　56,910 千円

・リサイクル施設　容器包装ストックヤード（紙類、布類の分別保管施設）

（４）岩沼一般廃棄物最終処分場　　岩沼市長岡字栗木平西１－１

敷地面積	41,902 ㎡
埋立面積	19,880 ㎡
埋立容量	119,865 ㎥
処理方式	準好気性埋立構造
・浸出水処理施設	処理方式 回転円板（生物学的脱窒素処理）＋凝集沈殿＋砂ろ過 ＋活性炭吸着 処理能力 45 ㎥／日（最大 90 ㎥／日）
供用開始	昭和 61 年４月１日
総事業費	878,320 千円

【し尿処理施設】　対象者：委託業者・許可業者

（５）浄化センター　　岩沼市寺島字川向 45－53

敷地面積	19,962.9 ㎡
工期	平成３年 11 月～平成６年 12 月
総事業費	3,230,000 千円
・し尿処理施設	処理方式　高負荷脱窒素処理＋高度処理方式 処理能力　113ｋℓ／日 （し尿 78ｋℓ／日・浄化槽汚泥 35ｋℓ／日） 汚泥乾燥焼却設備、脱臭設備等

※東日本大震災により被災し復旧修繕を行い、平成 25 年３月より再稼働

7　ごみ処理事業

昭和 38 年２月にし尿を広域処理するために、一部事務組合として設立されて以来、名取市、岩沼市、亘理町及び山元町のし尿処理業務を行ってきたが、ダイオキシン類の排出抑制並びに効率的なごみ処理を行うこととし、構成市町が広域化に合意して、平成 14 年４月から新たにごみ処理を加えた広域行政の業務を開始した。

ごみ処理業務を実施するにあたり、本組合に移管された施設のうちで老朽化の著しい岩沼清掃センター焼却施設の稼動を停止して、焼却処理業務は名取クリーンセンターと亘理清掃センターの焼却施設において行うこととして、ダイオキシン類排出抑制のため、両施設において排ガス高度処理工事を行い２施設に集約した。

岩沼清掃センターの焼却施設は平成 14 年 11 月に稼動を停止して平成 17 年度、18 年度の２カ年継続の国庫補助事業として焼却施設の解体を行い、跡地に紙類・布類の選別と保管を行う鋼板折板葺き平屋建て延床面積 475.11 ㎡のストックヤードを建設した。

平成 21 年３月には、岩沼一般廃棄物最終処分場２期工事が終了している。

平成 23 年３月に発生した東日本大震災の津波により、亘理清掃センターが甚大な被害を受けたため使用不能となったが、平成 24 年９月に復旧修繕が完了し、同年 10 月から本格稼働を開始した。

平成 25 年３月に新ごみ処理施設建設工事の契約を行い、平成 28 年３月 31 日竣工し、同年４月１日より本格稼働し、同年６月５日に岩沼東部環境センター（ぽぽか）の竣工式を開催した。

平成28年10月14日には２市７町の一般廃棄物（ごみ・し尿）を処理する仙南地域広域行政事務組合と災害や施設の故障時に一般廃棄物（ごみ・し尿）の処理を引き受ける相互応援協定を締結した。

平成29年５月に名取クリーンセンター解体工事の契約を行い、平成30年７月に解体工事を完了し、同年10月には敷地を名取市に返還している。

【業務概要】

本組合で所管するごみ処理業務は、住民がごみ集積所に出した可燃ごみや資源物を収集車両に積込み、施設に運搬するところから始まり、資源物として出されたものは選別処理を行い有価物として売却し、可燃ごみは焼却処理した後に焼却灰を一般廃棄物最終処分場に埋立処分するまでの範囲である。これら業務を民間業者に委託して事業を円滑に行っている。事業系の一般廃棄物は事業者自らが施設に搬入するか、あるいは一般廃棄物収集運搬業の許可業者が、事業者に代わって施設に搬入する。

８　ごみ処理の実績（令和４年度）

（１）市町別排出量及び一人当たり一日の排出量

区分 / 市町名	人口（令和5年3月末現在）	排出総量（ｔ）	内訳（ｔ） 家庭系	内訳（ｔ） 事業系	1人当たり1日の排出量（g）	災害ごみ（ｔ）
名取市	79,519	26,209.31	19,289.32	6,919.99	903.01	0.06
岩沼市	43,489	15,020.64	10,869.31	4,151.33	946.27	0.66
亘理町	33,136	10,563.68	8,793.05	1,770.63	873.42	7.38
山元町	11,678	4,345.33	3,465.84	879.49	1,019.44	4.91
合計	167,822	56,138.96	42,417.52	13,721.44	全体 916.48	13.01
前年度合計	168,431	57,162.21	43,301.51	13,860.70	全体 929.81	4.03
比較増減	△ 609	△ 1,023.25	△ 883.99	△ 139.26	△ 13.33	8.98
前年度比（%）	△ 0.36	△ 1.79	△ 2.04	△ 1.00	△ 1.43	222.83

（２）種類ごとの市町別搬入状況　【単位：ｔ】

市町名 / 区分	名取市	岩沼市	亘理町	山元町	合計
可燃ごみ	20,680.51	11,976.45	8,001.56	3,270.86	43,929.38
粗大ごみ	1,331.84	932.10	691.79	292.50	3,248.23
有害・危険ごみ	64.77	31.18	27.28	11.96	135.19
資源物	4,132.25	2,081.57	1,850.43	774.92	8,839.17
小計	26,209.37	15,021.30	10,571.06	4,350.24	56,151.97
直接埋立物	52.34	23.25	0.00	0.00	75.59
合計	26,261.71	15,044.55	10,571.06	4,350.24	56,227.56
前年度合計	26,530.14	15,525.55	10,729.05	4,446.68	57,231.42
比較増減	△ 268.43	△ 481.00	△ 157.99	△ 96.44	△1,003.86
前年度比(%)	△ 1.01	△ 3.10	△ 1.47	△ 2.17	△ 1.75

（３）収集運搬等搬入量　【単位：ｔ】

区分 市町名	代行運搬	委託収集	許可収集	計
名取市	65.77	17,798.66	6,478.96	24,343.39
岩沼市	26.40	9,811.42	3,910.17	13,747.99
亘理町	23.68	7,927.56	1,557.29	9,508.53
山元町	6.00	3,216.34	805.10	4,027.44
合計	121.85	38,753.98	12,751.52	51,627.35

（４）市町別ごみ搬入量推移　【単位：ｔ】

年度 市町名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度
名取市	25,964	26,047	25,903	26,540	26,593	26,490	26,210
岩沼市	15,202	15,284	15,103	15,586	15,858	15,500	15,021
亘理町	9,852	9,941	9,964	9,957	10,509	10,729	10,571
山元町	4,103	4,126	4,215	4,262	4,588	4,447	4,350
合計	55,121	55,398	55,185	56,345	57,548	57,166	56,152

※仙南地域広域行政事務組合で実施した汚染廃棄物試験焼却に伴う、白石市から発生した一般家庭の可燃ごみ3.99ｔは除く（平成29年度）

（５）収入状況

①　ごみ処理手数料（施設別）　【単位：円】

施設名 区分		岩沼東部環境センター	亘理清掃センター	合計
代行運搬		2,742,000	—	2,742,000
許可業者		126,727,800	787,400	127,515,200
直接搬入一般家庭		41,476,100	4,703,800	46,179,900
直接搬入事業所		7,958,500	22,500	7,981,000
合計		178,904,400	5,513,700	184,418,100
前年度合計額		181,865,700	5,887,550	187,753,250
対前年度比	増減額	△ 2,961,300	△ 373,850	△ 3,335,150
	増減率%	△ 1.63	△ 6.35	△ 1.78

② 資源物売却量及び収入額（施設別）

区分 ＼ 施設名			岩沼東部環境センター	岩沼清掃センター	亘理清掃センター	合計
スチール缶	重量(t)		127.41	0.00	61.92	189.33
	金額(円)		4,691,280	0	2,289,738	6,981,018
アルミ缶	重量(t)		227.37	0.00	77.95	305.32
	金額(円)		43,330,287	0	14,886,883	58,217,170
古新聞等	重量(t)		134.79	1,402.75	820.69	2,358.23
	金額(円)		363,132	3,924,360	2,293,742	6,581,234
鉄屑等	重量(t)		657.68	0.00	159.56	817.24
	金額(円)		5,215,592	0	1,261,921	6,477,513
小型家電	重量(t)		24.72	0.00	7.24	31.96
	金額(円)		174,900	0	54,274	229,174
小計	重量(t)		1,171.97	1,402.75	1,127.36	3,702.08
	金額(円)		53,775,191	3,924,360	20,786,558	78,486,109
容器包装リサイクル協会拠出金	有償入札拠出金	重量(t)	361.99	0.00	114.38	476.37
		金額(円)	31,479,105	0	9,994,209	41,473,314
合計金額			85,254,296	3,924,360	30,780,767	119,959,423
前年度合計金額			59,148,678	2,778,908	22,417,349	84,344,935
対前年度比	増減額		26,105,618	1,145,452	8,363,418	35,614,488
	増減率%		44.14	41.22	37.31	42.22

※容器包装リサイクル協会再商品化有償入札拠出金の重量は、容器包装リサイクル協会へ搬出したペットボトルの量であり、拠出金は、全国市町村の再商品化委託に占める組合の比率に応じて算出されたもの。

③ 売電量及び収入額（岩沼東部環境センター）

バイオマス分 税込 18.7 円/kWh		非バイオマス分 税込 8.3 円/kWh		合計	
kWh	円	kWh	円	kWh	円
4,808,792	89,924,408	3,627,248	30,106,156	8,436,040	120,030,564

（6）施設別焼却量及び資源化量

① 岩沼東部環境センター 【単位：t】

区分 ＼ 市・町		名取市	岩沼市	亘理町	山元町	合計
焼却量	搬入可燃ごみ	19,148.51	11,976.45	8,001.56	3,270.86	42,397.38
	中間処理後の可燃物	搬入された粗大ごみを解体した後の可燃性ごみ等				2,629.66
	合計					45,027.04

【単位：ｔ】

区分 ＼ 市・町		名取市	岩沼市	亘理町	山元町	合計
資源化量	粗大ごみからの回収量	641.58	441.86	249.30	34.26	1,367.00
	資源物からの回収量	2,753.12	1,346.31	638.79	111.45	4,849.67
	有害物からの回収量	48.55	22.55	0.03	0.00	71.13
	小計	3,443.25	1,810.72	888.12	145.71	6,287.80
	焼却灰からの資源化量	590.40	370.64	247.59	101.03	1,309.66
	合計	4,033.65	2,181.36	1,135.71	246.74	7,597.46

② 岩沼清掃センター 【単位：ｔ】

区分 ＼ 市・町		名取市	岩沼市	亘理町	山元町	合計
資源化量	資源物からの回収量	871.50	547.30	0.00	0.00	1,418.80

③ 亘理清掃センター 【単位：ｔ】

区分 ＼ 市・町		名取市	岩沼市	亘理町	山元町	合計
資源化量	粗大ごみからの回収量	0.69	1.62	123.63	154.01	279.95
	資源物からの回収量	1.05	0.11	991.65	566.09	1,558.90
	有害物からの回収量	0.00	0.02	18.10	8.48	26.60
	合計	1.74	1.75	1,133.38	728.58	1,865.45

（７）施設別埋立量

① 岩沼一般廃棄物最終処分場 【単位：ｔ】

区分 ＼ 市町名	名取市	岩沼市	亘理町	山元町	合計
岩沼東部環境センター焼却灰	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
浄化センター焼却灰	16.79	10.93	17.07	10.44	55.23
その他（側溝土砂等）	52.34	23.25	0.00	0.00	75.59
中間処理埋立物	7.31	5.13	5.10	3.34	20.88
合計	76.44	39.31	22.17	13.78	151.70

※中間処理埋立物については、漬物石等の不燃物で処分場に埋立したもの

（８）ダイオキシン類測定値　　【単位：ｎｇ－ＴＥＱ／㎥Ｎ】

施設名等／区　分	岩沼東部環境センター	
	測定日	測定結果
１号炉	令和４年　６月 16 日	0.0003
	令和４年 10 月 21 日	0.0014
２号炉	令和４年　６月 17 日	0.0020
	令和４年 10 月 20 日	0.0069
基準値	1	

９　し尿処理事業

昭和 38 年２月にし尿処理を広域処理するために、名取市、岩沼町(当時)、亘理町及び山元町の 1 市３町が構成自治体として広域行政事務組合を設立してし尿処理業務を開始した。汲取り業務は業者に委託して、昭和 40 年３月に岩沼市早股地区に竣工した処理能力 54ｋℓ／日のし尿処理施設において直営で処理業務を行ってきた。その後、し尿収集量の増加に伴い、昭和 45 年 10 月に処理能力 75ｋℓ／日の第１施設を現在地に建設を始め、昭和 47 年４月から２カ所において増加するし尿の処理に対処してきた。昭和 53 年４月から第１施設の隣接地に竣工した処理能力 80ｋℓ／日の第２施設が稼動したことにより、日量 155ｋℓの処理が可能となり、増加する一途の収集量に対応できることになった。これにより老朽化が著しい早股地区の施設を停止した。

しかし、環境衛生の向上や快適な生活環境のニーズが高まったことにより、昭和 50 年頃から浄化槽の普及が進んできたことや流域下水道事業、農業集落排水事業の整備が進められ、昭和 60 年１月流域下水道の供用が開始された。

その後、構成市町の合併処理浄化槽設置に対する補助制度が整備され、水洗化が普及し、それに反比例してし尿収集量は毎年減少することとなった。

水洗化率の向上によるし尿収集量の減少や第１、第２施設の老朽化による修繕等の維持管理費が増加してきたことなどにより、平成３年 11 月に現在の施設である浄化センターの建設が開始された。平成５年 12 月に完成し、１日あたり 113ｋℓ（し尿 78ｋℓ／日・浄化槽汚泥 35ｋℓ／日）を処理できる最新処理方式を備えた新施設が稼動して現在に至っている。

平成 23 年３月に発生した東日本大震災の津波により、浄化センターが甚大な被害を受けたため使用不能となったが、平成 25 年３月に復旧修繕が完了し、本格稼働を開始した。

【操業状況】

令和４年度においては、し尿等の総収集量は、17,786,940ℓで前年度対比 1.39％の減となっている。

し尿については、東日本大震災で沿岸部が被災を受け、汲取り戸数が減少している。

浄化センターの処理能力は、113 kℓ/日で、そのうちし尿の受け入れ率は、約 70％で、浄化槽汚泥の受け入れ率は約 30％と見込んでいたが、合併浄化槽や、下水道の整備が進んだことにより、し尿の受け入れが年々減少し、現在はし尿が約 25％、浄化槽汚泥が約 75％の構成率となり、当初の計画処理能力から大幅に変更となっている。

10　し尿処理の実績（令和４年度）

（１）市町別し尿処理人口（外国人を含む。）　【令和５年３月末現在】

区分＼市町	名取市	岩沼市	亘理町	山元町	合計
総人口（人）	79,519	43,489	33,136	11,678	167,822
総世帯数（戸）	33,000	18,747	13,213	4,819	69,779
処理人口（人）	1,701	1,219	2,527	1,802	7,249

（２）生し尿及び浄化槽汚泥等搬入量　【単位：ℓ】

区分		令和３年度	令和４年度	比較増減	増減率（%）
名取市	生し尿	1,163,360	1,106,420	△ 56,940	△ 4.89
	浄化槽汚泥	3,680,730	3,675,060	△ 5,670	△ 0.15
	農集排汚泥	1,120,700	1,119,800	△ 900	△ 0.08
	小計	5,964,790	5,901,280	△ 63,510	△ 1.06
岩沼市	生し尿	1,056,780	979,370	△ 77,410	△ 7.33
	浄化槽汚泥	2,075,750	2,105,690	29,940	1.44
	農集排汚泥	407,170	410,720	3,550	0.87
	小計	3,539,700	3,495,780	△ 43,920	△ 1.24
亘理町	生し尿	1,575,680	1,540,940	△ 34,740	△ 2.20
	浄化槽汚泥	3,997,510	3,897,490	△ 100,020	△ 2.50
	農集排汚泥	0	0	0	―
	小計	5,573,190	5,438,430	△ 134,760	△ 2.42
山元町	生し尿	904,750	906,840	2,090	0.23
	浄化槽汚泥	2,055,680	2,044,610	△ 11,070	△ 0.54
	農集排汚泥	0	0	0	―
	小計	2,960,430	2,951,450	△ 8,980	△ 0.30
合計	生し尿	4,700,570	4,533,570	△ 167,000	△ 3.55
	浄化槽汚泥	11,809,670	11,722,850	△ 86,820	△ 0.74
	農集排汚泥	1,527,870	1,530,520	2,650	0.17
	小計	18,038,110	17,786,940	△ 251,170	△ 1.39

（３）し尿処理手数料等収入状況　【単位：円】

区　　分	令和３年度	令和４年度	比較増減	増減率（%）
し尿処理手数料（汲取券）	27,678,500	26,341,900	△ 1,336,600	△ 4.83
浄化槽汚泥処分手数料	10,460,950	10,385,155	△ 75,795	△ 0.72
農集排汚泥処分手数料	1,337,805	1,338,890	1,085	0.08
公共施設汲取手数料	207,900	198,700	△ 9,200	△ 4.43
合　　計	39,685,155	38,264,645	△ 1,420,510	△ 3.58

（４）市町別搬入量推移　【単位：kℓ】

年度／市町別	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度
名取市	6,478	6,541	6,414	6,468	6,104	5,965	5,901
岩沼市	3,948	3,794	3,670	3,708	3,500	3,540	3,496
亘理町	6,405	6,044	5,886	5,878	5,577	5,573	5,438
山元町	3,973	3,997	3,290	3,259	3,180	2,960	2,952
合　計	20,804	20,376	19,260	19,313	18,361	18,038	17,787

（５）水質検査結果

項　　目	単　位	基準値	年度平均測定値
水素イオン濃度（pH）	水素指数	5.8～8.6以下	6.7
生物化学的酸素要求量（BOD）	mg/ℓ	160以下	1.3
化学的酸素要求量（COD）	mg/ℓ	160以下	1.6
浮遊物質量（SS）	mg/ℓ	200以下	1.2
大腸菌群数	個/㎤	3,000以下	0

（６）ダイオキシン類測定値　【単位：ng－ＴＥＱ／㎥Ｎ】

測定日	基準値	測定結果
令和４年６月15日	10	0.002

・・・メ　モ・・・